

楽しい夏休みに



夏休みが始まりました。思い返すと、令和6年度が始まってから7月前半までに、入学式や運動会を始めとした多くの学校行事や教育活動に取り組んできました。行事を成功させようと準備することが子供たちの成長につながります。日常の学習においては子供たちの「わかった」

「できた」という笑顔を本当にうれしく感じます。また、学習内容が身に付くことだけでなく、頑張った経験が大事です。学校生活の場面では、友達と話したり一緒に遊んだり運動したり、時には悩み話し合い解

決したりしながら、毎日少しずつ成長してきました。子供たちは一つ一つの活動に精一杯取り組み、力を伸ばしています。課題や反省も多々ありますが、今後も子供たちの健やかな成長のために力を尽くしていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、たくさんのご支援をいただき、この3か月半を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

さて、春・秋・冬もいろいろなことをしているはずですが、夏の思い出だけなぜか特別な感じがします。44日間もある夏休みは、慌ただしい日々から離れて過ごせる大事な時間です。ゆっくり体や心を休めることも必要です。やりたいことにじっくり取り組むのも楽しみです。ご家族で楽しいひとときを過ごす場合もあるでしょう。普段できない体験を通して、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと願っています。

<自由研究に取り組んでみましょう>

夏休み前集会では、自由研究に取り組んでみようという話をしました。私が以前飼っていたミミズのことを紹介しました。生き物を飼って毎日観察記録を付けていると、調べてみたいことを思い付くものです。ミミズはあまりエサをやらなくても大丈夫ですが、生き物なのでだんだんエサやりを試みたくなってきました。そんなときに実験をするととてもおもしろいです。

また、ミミズは土の中に住んでいますが、あるときにどこで光を感じるのか疑問に思いました。そこで、ミミズの体のいろいろな場所に目隠しをして調べようとしたのですが、ぬるぬるしているので、簡単に目隠しはできません。どんなものだったら体に付けることができるのでしょうか。紙を巻いたりテープを貼ったりペンで塗ったり、いろいろやってみましたがどれもだめでした。でも、何日も考えていたら急によいアイデアが浮かんだのです。発想を転換し、当てる光のほうを細くして、体の一部だけに当てるようにしてみました。ミミズはある部分に光を当てたときだけびっくりしたように動きます。

子供たちもぜひ自由研究にチャレンジし、自分なりの発見をする楽しさを感じてほしいです。